



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月12日

上場会社名 岩崎通信機株式会社
 コード番号 6704 URL <http://www.iwatsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 西戸 徹
 (氏名) 佐藤 修
 TEL 03-5370-5111

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	13,634	4.5	1,077		1,033		482	
2018年3月期第3四半期	14,270	5.9	1,041		918		910	

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 589百万円 (%) 2018年3月期第3四半期 632百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	48.79	
2018年3月期第3四半期	92.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	27,942	18,724	67.0
2018年3月期	29,295	19,409	66.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 18,724百万円 2018年3月期 19,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		10.00	10.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	3.5	120		0	100.0	300	11.5	30.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	10,080,344 株	2018年3月期	10,080,344 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	179,761 株	2018年3月期	184,021 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	9,898,779 株	2018年3月期3Q	9,890,341 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
継続企業の前提に関する注記	7
株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
セグメント情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に引き続き緩やかな回復基調にあるものの、世界経済の見通しに対する懸念が高まり金融市場が不安定になるなど、海外リスクの高まりから景気は先行き不透明感を増しながら推移しました。

こうした状況の中、当社グループでは中期経営計画「SCRUM 80」の基本方針に則り、成長事業を創設するための活動と収益力の強化を引き続き推進してきました。また、当第3四半期連結累計期間において、保有不動産の賃貸及び管理を事業化するための組織変更を行い、不動産を戦略的かつ効率的に業績に結びつける体制を実現し、当社グループの収益性及び企業価値の向上を図っています。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、13,634百万円で前年同期に比べ4.5%の減収となりました。利益面では営業損失1,077百万円（前年同期1,041百万円の損失）、経常損失1,033百万円（前年同期918百万円の損失）となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純損失は482百万円（前年同期910百万円の損失）と前年同期に比べ改善しました。これは、当社における退職金制度統合に伴う退職給付費用461百万円を特別損失として、保有不動産の売却に伴う土地売却益573百万円、建物売却益84百万円を特別利益として、法人税、住民税及び事業税232百万円、繰延税金負債の取崩しによる法人税等調整額の戻入益612百万円をそれぞれ計上したことによるものです。

セグメントごとの状況を示すと、次のとおりです。

なお、当第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、変更後の区分に組み替えた数値で比較しています。

(情報通信事業)

情報通信事業においては、主に中小事業所向け及び特定顧客向けビジネスホンの売上高が減少したことにより、事業全体の売上高は9,564百万円で前年同期に比べ6.0%の減収となりました。セグメント損益は225百万円の利益（前年同期43百万円の利益）となりました。

(印刷システム事業)

印刷システム事業においては、主に消耗品の売上高が減少したことにより、事業全体の売上高は1,836百万円で前年同期に比べ3.0%の減収となりました。セグメント損益は78百万円の損失（前年同期21百万円の損失）となりました。

(電子計測事業)

電子計測事業においては、主に航空宇宙関連及び電子部品の売上高が増加したことにより、事業全体の売上高は2,022百万円で前年同期に比べ0.6%の増収となりました。セグメント損益は51百万円の損失（前年同期1百万円の損失）となりました。

(不動産事業)

不動産事業においては、主に当社敷地内の保有資産の有効活用により、事業全体の売上高は211百万円で前年同期に比べ7.4%の増収となりました。セグメント損益は42百万円の利益（前年同期42百万円の利益）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年8月31日に公表しました通期の業績予想を変更しています。詳細につきましては、本日（2019年2月12日）公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,156	8,003
受取手形及び売掛金	6,605	3,388
有価証券	200	—
商品及び製品	1,872	2,532
仕掛品	628	895
原材料及び貯蔵品	1,771	2,036
その他	197	141
貸倒引当金	△7	△4
流動資産合計	17,424	16,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,122	3,433
土地	2,540	3,724
その他(純額)	1,281	1,168
有形固定資産合計	6,944	8,326
無形固定資産		
ソフトウェア	710	445
その他	45	45
無形固定資産合計	756	491
投資その他の資産		
投資有価証券	3,851	1,783
その他	353	382
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	4,170	2,131
固定資産合計	11,871	10,949
資産合計	29,295	27,942

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,594	1,107
短期借入金	80	120
未払法人税等	88	240
賞与引当金	526	268
製品保証引当金	136	103
その他	1,377	1,400
流動負債合計	3,803	3,239
固定負債		
繰延税金負債	1,970	1,249
退職給付に係る負債	3,607	4,207
その他	503	521
固定負債合計	6,081	5,978
負債合計	9,885	9,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,025	6,025
資本剰余金	6,948	6,948
利益剰余金	6,273	5,691
自己株式	△168	△165
株主資本合計	19,079	18,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	439	287
為替換算調整勘定	△176	△127
退職給付に係る調整累計額	67	63
その他の包括利益累計額合計	330	223
純資産合計	19,409	18,724
負債純資産合計	29,295	27,942

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	14,270	13,634
売上原価	9,167	8,888
売上総利益	5,103	4,745
販売費及び一般管理費	6,145	5,823
営業損失(△)	△1,041	△1,077
営業外収益		
受取利息	12	20
受取配当金	46	42
投資有価証券売却益	0	34
その他	90	56
営業外収益合計	149	153
営業外費用		
支払利息	2	2
投資有価証券売却損	0	76
為替差損	9	18
その他	14	13
営業外費用合計	26	109
経常損失(△)	△918	△1,033
特別利益		
土地売却益	—	573
建物売却益	—	84
債務取崩益	27	—
特別利益合計	27	658
特別損失		
投資有価証券評価損	—	26
退職給付費用	—	461
特別損失合計	—	487
税金等調整前四半期純損失(△)	△891	△863
法人税、住民税及び事業税	29	232
法人税等調整額	△10	△612
法人税等合計	19	△380
四半期純損失(△)	△910	△482
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△910	△482

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純損失(△)	△910	△482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	265	△151
為替換算調整勘定	8	49
退職給付に係る調整額	3	△4
その他の包括利益合計	277	△106
四半期包括利益	△632	△589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△632	△589
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

セグメント情報

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	情報通信	印刷システム	電子計測	不動産		
売上高						
外部顧客への売上高	10,168	1,893	2,011	196	—	14,270
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,168	1,893	2,011	196	—	14,270
セグメント利益又は損 失(△)	43	△21	△1	42	△1,105	△1,041

(注) 1. セグメント損益の調整額△1,105百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,105百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	情報通信	印刷システム	電子計測	不動産		
売上高						
外部顧客への売上高	9,564	1,836	2,022	211	—	13,634
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,564	1,836	2,022	211	—	13,634
セグメント利益又は損 失(△)	225	△78	△51	42	△1,216	△1,077

(注) 1. セグメント損益の調整額△1,216百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,216百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間より、保有不動産の賃貸及び管理を事業化するための組織変更に伴い、報告セグメントを従来の「情報通信事業」、「印刷システム事業」及び「電子計測事業」の3区分から、「情報通信事業」、「印刷システム事業」、「電子計測事業」及び「不動産事業」の4区分に変更しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成しています。